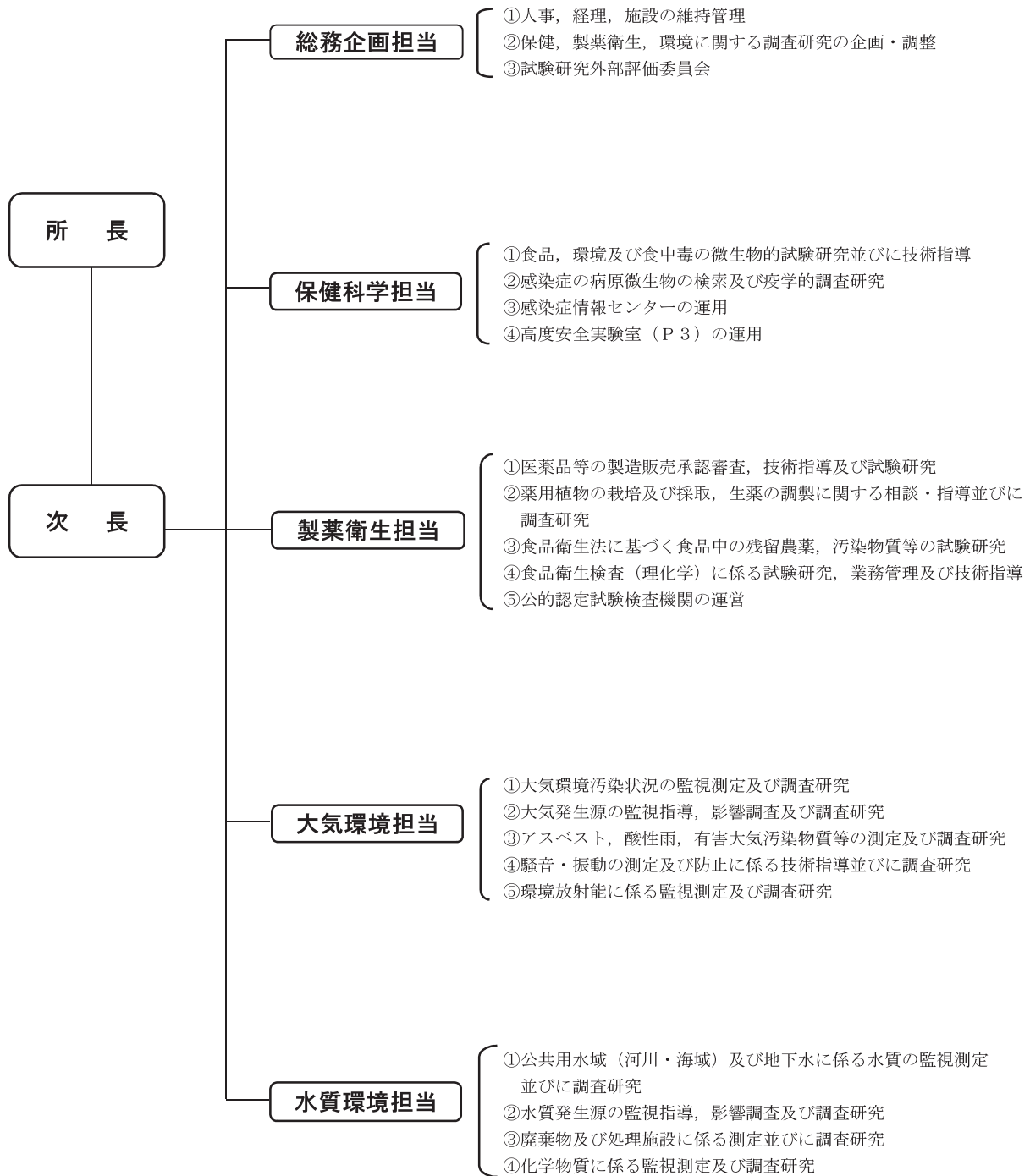


# I 組織と担当業務（平成26年4月1日現在）



## II 職員配置（平成26年4月1日現在）

区分	事務職員	技術職員	臨時職員	非常勤職員	計
所長		1			1
次長		1			1
総務企画担当	2	1			3
保健科学担当		5	1		6
製薬衛生担当		6	3		9
大気環境担当		6		2	8
水質環境担当		5	1	2	8
計	2	25	5	4	36

## III 平成25年度の業務の概要

### 1 保健製薬衛生関係

担当区分 種別		保健科学担当		製薬衛生担当		計
		細菌	ウイルス	医薬品等	食品	
行政依頼	項目	4,164	1,492	1,078*	11,562	18,296
一般依頼	項目	0	0	0	0	0
調査研究	項目	20	611	1	0	632

\*指定薬物の検査を除く。

担当区分			保健科学担当	製薬衛生担当	計
研修 指導	講師派遣（薬草教室）等	回	0	10	10
	相談・技術指導	件	1	41	42
器械器具等の貸出		件	0	3	3

### 2 環境関係

担当区分 種別		大気環境担当			水質環境担当			計
		発生源監視	環境監視	騒音振動	発生源監視	環境監視	環境衛生	
行政依頼	項目	248	4,740	207	721	4,920	992	11,828
一般依頼	項目	0	0	0	0	0	0	0
調査研究	項目	0	529	0	0	241	0	770

担当区分			大気環境担当	水質環境担当	計
研修 指導	講師派遣	回	1	4	5
	技術指導	件	5	0	5

## IV 総務企画担当業務

### 1 推進班の設置・運営

環境教育、研修の受入れ、所内活動等を推進するため、センター職員で構成する推進班を設け、活動を行っている。  
(各推進班の事務局は総務企画担当が担当)

#### (1) 保健製菓及び環境学習推進班

(保健製菓及び環境学習事業の推進)

- ・「学術セミナー」の運営に関する事。
- ・センター職員による講演、出前講座や県庁関係課関係担当等が主催する保健製菓衛生学習及び環境学習への協力に関する事。

#### (2) 普及啓発推進班

(センター業務及び調査研究等で得られた成果や情報の発信事業の推進)

- ・センターホームページ、OA活用推進に関する事。
- ・センターニュースの企画・編集及び発行に関する事。
- ・その他、他の推進班の業務に属さないこと。

#### (3) 研修事業推進班

(研修生の受け入れ等)

- ・研修生及び見学者の受け入れ等に関する事。

#### (4) 年報編集推進班

(年報の発行)

- ・徳島県立保健製菓環境センター年報の企画・編集・発行及び発送に関する事。

### 2 試験研究の企画調整

#### (1) 試験研究評価委員会の開催

当センターは、県民、県内事業者等のニーズを的確に反映した効率的かつ効果的な試験研究を行うことを目指して、試験研究課題についての外部評価を実施している。

外部評価は、本県の保健衛生の向上、環境の保全及び製菓業の振興に寄与することを目的として設置された、徳島県立保健製菓環境センター試験研究評価委員会において毎年、行われている。同委員会は、学識経験者や団体役員等から成る7名の委員で構成され、各委員の見識に基づき、試験研究課題の評価を行う、総合判定方式を採っている。

平成25年度は、9月27日に試験研究評価委員会を開催し、事後評価1件、中間評価1件、事前評価2件の併せて4件の研究課題について評価を受けた。

対象となった評価課題及びその評価結果については以下のとおりである。

なお、評価結果に用いる採点方法は各委員が各評価項目ごとに5段階の採点を行い、各委員の平均点をもって評価結果とすることになっている。評価結果及び評価内容

を基に、中間評価及び事前評価の課題については、当センターにおいて更に吟味、検討することで研究テーマの採択・不採択、継続・休止、内容の修正及び予算配分等に反映させていくことにしている。また、事後評価の課題については、成果に対する評価結果及び評価内容を、今後の事業及び試験研究に活かすことが出来るよう、更に検討を加えている。

#### ① 事後評価の結果 ※ ( ) 内は5点満点の評価点数

- ・細菌性呼吸器系感染症における原因微生物の迅速検査法の検討 (4.7)

#### ② 中間評価の結果 ※ ( ) 内は5点満点の評価点数

- ・重金属元素濃度等からみたアジア大陸からの越境大気汚染の影響について (4.1)

#### ③ 事前評価の結果 ※ ( ) 内は5点満点の評価点数

- ・指定薬物構造類似物質の探索と試験法の検証 (4.3)
- ・徳島県内公共用水域における一般家庭等から排出される化学物質の実態調査について (4.3)

#### (2) 学術会議の運営

当センターには、保健製菓衛生の向上、製菓業の振興及び環境の保全に関する試験・調査・研究を推進するため、所長以下、課長職(各担当)以上を構成員とした「保健製菓環境センター学術会議」が設置されている。平成25年度は2回開催し、新規研究課題の選定審査のほか、当該年度において終了予定あるいは継続中の試験研究課題の成果報告とそれに対する評価、検討を行った。

### 3 研修、環境学習の推進

#### (1) 施設見学及び研修

##### ① 実施日 平成25年6月3日

対象 徳島文理大学薬学部1年生 48名

内容 保健製菓環境センター業務の基礎的研修(薬学部早期体験学習)

##### ② 実施日 平成25年6月17日

対象 徳島大学医学部栄養学科4年生 13名

四国大学生生活科学部4年生 13名

徳島文理大学人間生活学部4年生 14名

神戸学院大学栄養学部4年生 1名

内容 保健製菓環境センター各担当業務の概要説明、食品の微生物学的検査及び理化学検査の概要説明等

##### ③ 実施日 平成25年6月21日

対象 徳島大学薬学部1年生 42名

内容 保健製菓環境センター業務の基礎的研修(薬学部早期体験学習)

## (2) 研修生の受入れ

### ① インターンシップ研修

実施日 平成25年8月26日～8月30日  
対象 岡山大学大学院自然科学研究科1年生 1名  
内容 保健製薬環境センターの業務概要説明、及び各担当での職場体験実習

### ② インターンシップ研修

実施日 平成25年9月2日～9月6日  
対象 愛媛大学農学部4年生 1名  
内容 保健製薬環境センターの業務概要説明、及び環境部門の各担当での職場体験実習

### ③ 徳島大学医学部社会学実習

実施日 平成25年11月18日～11月27日  
対象 徳島大学医学部医学科3年生 5名  
内容 保健製薬環境センター各担当業務の説明並びに保健、製薬衛生関係、及び細菌検査等に関する実習

## (3) 講師派遣

### ① みんなで水質汚濁を考える教室

実施日 平成25年6月26日、6月28日  
対象 鳴門市鳴門第一小学校4年生 70名  
内容 生活排水対策、パックテストによる身近な水質試料を題材にした水質測定実習

### ② とくしまの「あおぞら発見」学習事業

実施日 平成25年7月4日  
対象 三好市立馬路小学校 16名  
内容 徳島県の大気環境説明、大気汚染測定実習

### ③ あどぶとエコスクール

実施日 平成25年8月20日、9月24日  
対象 徳島県立城西高等学校1年生 75名  
内容 袋井用水の水質調査

## V 試験・検査及び監視・測定業務

### 1 保健科学担当

#### (1) 感染症発生動向調査事業関係

感染症発生動向調査事業は、「感染症の予防および感染症患者に対する医療に関する法律」により、事前対応型感染症対策の一つに位置づけられ、患者発生状況や病原体検索などにより流行を早期に把握し、社会的影響の大きい感染症のまん延を未然に防止することを目的に運用されている。徳島県では保健製薬環境センター内に感染症情報センターを設置し、「徳島県感染症発生動向調

査事業実施要綱」に基づき、関係医療機関の協力を得て本事業を実施している。

#### ① 患者情報の収集・解析

感染症情報センターでは、県内医療機関から届出のあった患者発生情報の集計、解析を行い、週報（週ごと）、月報（月ごと）、年報（年1回）を発行している。これらの内容に流行情報・シーズンの感染症のお知らせ等を併せてホームページに掲載し、広く積極的に情報提供している。

#### ② 病原体の検索

2～4類感染症、5類全数把握感染症、5類定点把握感染症の病原体検査を実施している。これらの病原体検出情報は、感染症のまん延を未然に防止し、的確な感染症の予防対策の策定などの健康危機管理に資すると共に、適切な治療情報としても活用されている。

##### ア 2類感染症

「結核菌DNA解析調査モデル事業実施要領」により、結核患者から分離された結核菌16株について、VNTR検査及びデータ解析を実施した。

##### イ 3類感染症

(ア) 赤痢菌（疑い）1株について、血清型等の検査を実施した。

(イ) 腸管出血性大腸菌5株について、血清型、毒素型および遺伝子型別等の検査を実施した。また、これら菌株を国立感染症研究所に提供し、全国から検出される菌株との比較を行うことにより、散在性集団発生の早期発見に寄与している。

##### ウ 4類感染症

日本紅斑熱疑い患者3名の急性期、回復期のペア血清、計6検体について、日本紅斑熱抗体検査を、患者1名の痂皮1検体について遺伝子検査を実施した。また、重症熱性血小板減少症候群疑い患者12名の血清16検体、尿1検体について遺伝子検査を実施し、陽性となった2名の検体について国立感染症研究所に送付し、2名とも重症熱性血小板減少症候群と確定された。さらに、デング熱疑い患者2名2検体、チクングニア熱疑い患者1名1検体について、国立感染症研究所に送付し、1名がチクングニア熱と確定診断された。

##### エ 5類感染症（全数把握感染症）

麻疹疑い患者4名の血液、尿、咽頭拭い液、計11検体について麻疹遺伝子検査を実施し、内1名1検体については風疹遺伝子検査も実施し、患者の早期発見に寄与した。